



暖かいおもてなしで大好評！

どっこい積丹



冬の陣

夏とは違った冬の味覚を味わってもらおうと、冬の一大イベント「第10回どっこい積丹冬の陣」(佐藤勝次実行委員長)が、今年も11月3日から12月4日まで開催され、町内の飲食店や旅館などでそれぞれ自慢の鍋料理が提供されました。

また、12月3日には、「鍋の競演」が岬の湯しゃこたんで開催され、直径80cmの大鍋に「網元の女将がつくるあんこう鍋」や「寿司屋のソイ鍋」、「積丹本家のごっこ汁」など7種類、1,000食分が用意され、1杯100円以上のチャリティで提供。冬の積丹の食材をふんだんに使用した鍋を堪能しようと観光バスツアーや一般の入浴客約350人が来場し、どんぶりを片手に長蛇の列となりました。

ごっこ汁やあんこう鍋など、早いものでは30分で無くなるものもあり、午前11時の開始からわずか3時間で完売となる盛況ぶりでした。

鍋の売上94,300円は、歳末たすけあい運動義援金として、12月15日、佐藤実行委員長から積丹町共同募金委員会の安田満事務局長へ手渡され、一人暮らしの高齢者世帯などのために役立てられます。



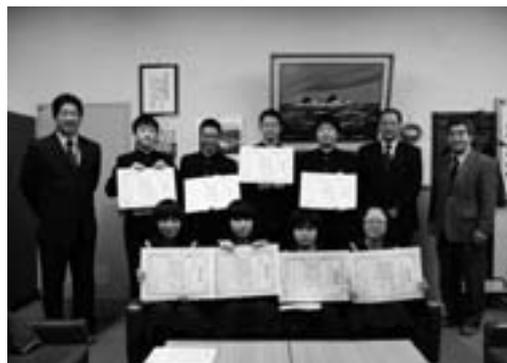
第31回中学校人権作文コンテスト地区大会で

古川 蓮さん(美国中3年)が上位入賞

第31回中学校人権作文コンテスト小樽地区大会(小樽人権擁護委員協議会、札幌法務局小樽支局主催)に、美国中学校3年生24人が参加し、応募人数105人の中から12人が入賞、上位7編の1編、「小樽人権擁護委員協議会長賞」に古川蓮さんの「考えて」が選ばれました。

12月16日には、同校で表彰伝達式が行われ、町人権擁護委員の川井順應さんから上位入賞者8人に賞状が手渡されました。

古川さんは、祖父との会話や夏休み中の体験から感じ、気付かされた障害者の生活などについて書き、友達とレストランに入った際の出来事を作文で紹介しました。「私たちは、関心のないことや知らない世界のことに對しあまりにも無関心で、意識しないことは何も気付かないこと。無関心や無理解は偏見や差別につながる。」と訴えました。



美国婦人会(戸来和子会長)では、古くなったセーターなどを持ち寄り、それを解いて靴下や靴下カバー、ショールなどを作っています。この作業は同会のリサイクル活動の一環として20年以上取り組まれているもので、毎年11月の文化祭に行われるバザーで販売され、丈夫で暖かく、デザインも良いことから、販売と同時に売り切れてしまうほど人気の商品です。戸来会長は、「会員が、一足一足丁寧に、気持ちを込めて編んでいます。毎年、靴下とカバーを合わせて200足ぐらい編むんですよ。」と話してくれました。

また、同会では、サラダ油などの廃油を使ったせっけん作りも行っており、これらの販売の収益の一部は社会福祉協議会へ寄付されています。

美国婦人会の活動を紹介します！ リサイクルで生まれ変わる



まちの日記帳



取り組みやすく簡単に運動！ 高齢者のための運動教室

11/19

高齢者の介護予防を目的に、町地域包括支援センターが主催する巡回型運動教室が野塚克雪センターと総合文化センターを会場に行われ、野塚悠ゆう会、美国宝寿会の会員など76人が参加しました。

上級トレーニング指導者の小柳利哉さんを講師に招いて行われた教室では、肩・腰・膝の痛みに不安を抱えている方のために痛みが起こるメカニズムや解消方法を説明。テニスボールなどを使った簡単運動を紹介しました。参加者からは、「自宅に帰っても簡単にできる。」などの声もあり、うなずきながら真剣に取り組む姿が見られました。



親子でクッキング 北あかりでお好み焼きを作りました

11/24

11/27

キッズファームで収穫されたジャガイモ「北あかり」を使用したお好み焼き作りが、子育て交流会と親子ふれあい塾でそれぞれ行われました。

北海道フードマイスターの佐藤多美子さん（美国町）の指導のもと、親子でクッキングに挑戦。子ども達は、ジャガイモをすりおろしたり、野菜を切ったりと上手に作業をしていました。

試食会では、「モチモチでおいしい。」「手軽にできるし味もいい。」などと好評で、おかわり続出でした。

子育て交流会▶



◀親子ふれあい塾

元気いっぱいに発表 びくに・みなと保育所で生活発表会

11/27

12/4

第34回びくに保育所、第17回みなと保育所の生活発表会がそれぞれ行われました。

全園児の開会のことばで始まった発表会は、日頃の園内での遊びや生活など、園児の成長の様子を遊戯や劇、合唱などで披露しました。

家族や地域の皆さんが園児の成長と頑張りを見守る中、かわいらしい衣装や勇ましい衣装を身につけて、小さな体で元気いっぱいに歌ったり踊ったりする園児の姿に、会場からは大きな拍手と声援が送られていました。



◀びくに保育所

みなと保育所▶



ナイスショットにナイスプレー
町内ゲートボール大会

11/29

第27回町内ゲートボール大会（町教育委員会主催）がB & G海洋センターで行われ、町内のゲートボール愛好会3チーム15人が参加し、得失点差で順位を競いました。熱戦が繰り広げられたゲームでは、好プレーが出るたびに「ナイスショット」の大きな声が会場に響きました。

大会の結果は次のとおりです。

【優勝】

美国・余別愛好会

（代表 新井田明見さん）

【準優勝】

美国GB愛好会

（代表 熊本 和子さん）

【第3位】

入舸GB愛好会

（代表 川井 順應さん）



美国婦人会・園児らによる慰問でのふれあい
やすらぎ慰問

12/5

12/7

美国婦人会（戸来和子会長）とびくに保育所の園児や子育て支援センターに通う幼児によるやすらぎへの慰問が2日間の日程で行われ、施設利用者に歌や踊りなどを披露しました。

毎年行われているこの慰問活動を楽しみにされている方も多く、知っている曲が流れると口ずさんだり、手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、とても喜ばれていました。

また、最後に婦人会の皆さんによる花笠音頭も披露され、利用者は楽しいひと時を過ごしました。



新年は自分の作ったしめ飾りで！
第2回町民文化教室

12/16

自作のしめ飾りで新年を迎えようと、総合文化センターで行われた第2回町民文化教室「しめ飾り教室」（町教育委員会主催）に10人が参加しました。

美国町の佐々木憲枝さんが丁寧に解りやすく指導され、初めてしめ飾りづくりに挑戦された方でも楽しく上手に作る事ができました。

それぞれの新年に向けての思いがこもった味わいある作品となりました。

